

氏名	西山剛史		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第602号		
学位授与の日付	昭和49年3月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	<b>Electron Microscopic Studies on Ganglion with Special Reference to its Morphogenesis</b> (ガングリオンの形態発生に関する電子顕微鏡的研究)		
論文審査委員	教授 田中早苗	教授 砂田輝武	教授 小川勝士

#### 学位論文内容の要旨

ガングリオン壁の内層領域に、数層のガングリオン内層細胞が認められ、これらは豊富な粗面小胞体とよく発達したミトコンドリアをもち、しばしば amorphous material の放出が認められ、旺盛な活動性を示している。さらに一部の粗面小胞体には PAM 染色に強い陽性を呈す物質が認められ、ガングリオン内層細胞における多糖類の生成過程の異常を示すものと考えられた。ガングリオン内層細胞の周辺および娘嚢胞内層附近には、成熟膠原線維はみられないが、ガングリオン壁の中層から外層にみられる線維芽細胞の周囲には、成熟膠原線維が形成されている。ガングリオンは、ある種の素因のうえに、なんらかの局所的誘因が働いて、中胚葉性細胞の多糖類生成過程に異常を生じ、コラーゲン合成能のない、粘稠度の高いおそらくはヒアルロン酸を主とする粘液多糖類が amorphous material となって細胞間質に放出されることによって、形成されると考えられた。

#### 論文審査の結果の要旨

本研究は、ガングリオンの形態発生に関する電子顕微鏡的研究であり、ガングリオンの発生機序は変性によってできているものではなく、内層細胞の activ な活動によって、無構造な粘液多糖類を放出することによってできるものであるという、従来の発生機序に関するものとは全く異った新しい見解を示したものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。